



子育てバックアップ

エプロン通信員 宮里 希見子

十月から宜野湾市の乳幼児医療費助成が変わりました。その名も「児童の医療助成」です。

今まで通院は二歳まで、入院は四歳まで病院代が無料(要申請)でした。それが、通院は四歳まで、入院は中学卒業までと大幅に拡充されたのです。

子どもを持つ親にとっては、とても安心できるようになりまし。私も改正を知り「宜野湾市に住んでいて良かった」と喜んだ一人です。助成を受けるには保健相談センターでの申請が必要です。健康保険証・通帳・認印を忘れずに持って行きましよう。



保健相談センター
☎八九八一五五八三

私としては宜野湾市役所でも申請できるようになることを熱望していますが、難しいとの回答でした。その代わり、多忙な人のために月に一回、乳児健診のある日曜日に保健相談センターの窓口を開設しています。

また、市ホームページの「子育て支援コーナー」が二年後開設を目標に準備しているところ。こちらも子育てのパパママの心強い味方となるでしょう。

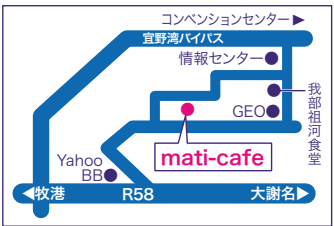
子どもにやさしい宜野湾市にますます目が離せません。

ちまい竹散歩 vol.5

「おばんざい」って存じですか? 京都ではお惣菜のことを「おばんざい」というそうです。今回は、本場京都のおばんざいが食べられるお店「mami-caffe」さんをご紹介します。

旬の素材、手近な素材を使って、丁寧に作られた色とりどりの小鉢には味覚も視覚も刺激されます。また、お野菜を中心で作られたお料理の品々は、体にもおいしく、健康への気遣いが感じられます。ランチメニューにはおばんざいの他に日替わりのランチプレートやカレー、スープセットなどがいただけます。数々のスイーツも見逃せません。抹茶のチーズケーキを注文しました。デザートは別腹なんです。

西海岸の海を臨む景色も魅力。晴れた日には真っ青な海を臨み、夕方には真っ赤な夕日を眺めながら、ゆったりとした時間が過ごせそうです。個人的には雨の日のしっとりとした雰囲気もぴったりなのかな、という感想です。それぞれに合った時間をさりげなく提供してくれる、そんな寛容さを感じさせる場所でした。



住所/ 宇地泊 613 番地 ☎ / 898-1708
E-mail / mami_cafe@ybb.ne.jp
営業時間 / 11:30 ~ 24:00 (木曜定休)

茶 ぐわわーゆんたく 44

ぎびのわんのカー小話 ~野高のクシヌカー~

いよいよ新年です。年末年始の節目には、いろいろな行事が行われます。中でも元旦には、早朝にカーから水を汲み、その水で顔を洗い、お茶を沸かして飲む若水の行事があります。若水には若返りの力があると信じられていたようです。

宜野湾で若水が汲まれたカーの一つに、野高のクシヌカーがあります。このカーは、若水汲み以外にも戦前、戦後を通じて、水道が普及するまでの生活用水として、飲料水や洗濯場、水浴び場などに利用されてきました。また、子ども達はカーを囲む松の木に登って遊んでいました。カー

の溜池では戦前、字で鯉を養殖していましたが、戦時中に全滅し、戦後は一九四八、一九五〇年代前半まで青年会が鯉を養殖し、販売して活動資金にしていました。また、野高に戦後収容所があった時期には、収容された多くの人がびとの飲料水ともなっていました。

野高の人びとの暮らしを支え、戦後多くの収容民が命を繋いだ歴史を持つクシヌカー。住宅地の中に残る緑のせせらぎを、歴史を思い浮かべながら散策してみたいかがでしようか。



野高のクシヌカー



松の木の跡

「宜野湾市史」への問合せ
教育委員会文化課 ☎893-4431